

令和8年(2026年) 4月30日

保護者の皆様

札幌市立北光小学校

校長 橋本 隆

## 「生成AI（Gemini）」を活用した教育活動について

平素より本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本校では、これからの社会を見据え、情報活用能力の育成の一環として、教育活動の中で生成AI（Gemini）の活用を進めていく方針のもと、高学年より段階的に学習を実施しております。今回は、5年生において、文部科学省のガイドライン及び札幌市教育委員会の方針を踏まえ、安全性や情報セキュリティ、個人情報の保護等に十分配慮した上で、生成AI(Gemini)に関する学習を行いました。

本学習のねらいは、生成AIの仕組みや特徴を理解するとともに、便利さだけでなく留意点についても考え、自分で判断しながら適切に活用しようとする態度を育てることにあります。特に、「AIは正解を知っている存在ではなく、情報をもとに予測している仕組みであること」や、「最後に判断するのは自分であること」を大切に扱いました。

授業では、AIの仕組みを学んだ後、AIのよりよい活用について考える場面を設定しました。子どもたちは、「そのまま使うのではなく、自分で考えることが大切」「個人情報を入力するのは危険」「使い方によって役に立つ」となど、生成AIとの関わり方について、自分なりに考える姿が見られました。

今後は、学校において、発達段階や学習内容に応じて活用場面を検討しながら、子どもたちが新しい技術と適切に向き合うことができるよう指導を継続していきます。また、情報の確かさを確かめることや、個人情報の取扱いなどについても、継続して指導していきます。

御家庭におかれましても、お子様がAIについて話題にした際には、「どのように使ったのか」「どのように考えたのか」などを話し合う機会としていただければ幸いです。子どもたちの考える力を育てる支えとなります。

なお、生成AIに関する基本的な考え方や御家庭での関わり方について、簡単なQ&Aを以下にまとめております。本内容につきましても、上記の考え方を踏まえて整理したものとなっておりますので、御参考にいただければ幸いです。

引き続き、本校の教育活動への御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

御不明な点がございましたら、学校（721-0377 担当：河嶋）までお問い合わせください。

# 生成AIの学習に関するQ&A

## Q1. 子どもがAIに頼りすぎてしまわないか心配です

A. 御心配はもっともです。そのため授業では、「答えをもらうための道具」ではなく、**自分の考えを広げるために使うこと**を大切に指導しています。また、「最後に決めるのは自分」という考え方を繰り返し確認していきます。

---

## Q2. AIを使うと学力が下がってしまいませんか？

A. 使い方によって大きく変わります。そのまま写す使い方では力はつきませんが、**考えを深めたり、視点を増やしたりする使い方をすれば、学びを広げることにつながります**。そのために「どのように使うか」を学ぶことを重視しています。

---

## Q3. AIの答えは正しいのですか？

A. 必ずしも正しいとは限りません。AIは「もっともらしい答え」を作る仕組みのため、間違いを含むことがあります。そのため授業では、「**本当かどうか確かめること**」を大切にしています。

---

## Q4. 個人情報は大丈夫ですか？

A. 重要な点として丁寧に指導しています。名前や住所、写真などの個人情報は入力しないことを確認しています。学校でも利用の場面や方法に配慮しながら進めています。

---

## Q5. 家庭ではどのように関わればよいですか？

A. 特別な準備は必要ありません。「どんな使い方をしたの？」「それは本当に正しいのかな？」といった声かけをしていただくことで、**子どもが自分で考える力を育てることにつながります**。

---

## Q6. 小学生にはまだ早いのではないですか？

A. 身近になっているからこそ、早い段階から正しく理解することが大切だと考えています。実際に使うことだけでなく、**使い方や考え方を学ぶこと**に重点を置いています。

---

## Q7. 今後、AIを使う機会は増えますか？

A. 今後の学習の中で、目的に応じて活用する場面を検討していきます。その際も、子どもの発達段階や安全面に十分配慮しながら進めてまいります。